

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料1-11
提出年月日	令和5年3月24日

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

第41条 火災による損傷の防止

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41 r. 4.3)	41条-本-36	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) 第10.5.2表 消火設備の主要機器仕様 (旧) エンジン駆動消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用) (新) エンジン消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用)	
2	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r. 4.3)	41条-本-57	同上	
3	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41 r. 4.3)	41条-本-37	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) 第10.5.3表 消火設備の主な故障警報 (旧) エンジン駆動消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用) (新) エンジン消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用)	
4	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r. 4.3)	41条-本-58	同上	
5	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r. 4.3)	41条-本-19	女川2号炉の比較表の記載のうち、以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 燃料取替床等 (新) a. 燃料取替床等	
6	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41 r. 4.3)	41条-本-32	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (4)項 (旧) a. 火災感知器により火災を感知し, (新) a. 火災感知器及び煙検出装置により火災を感知し,	
7	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r. 4.3)	41条-本-50	同上	
8	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41 r. 4.3)	41条-本-23	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (2)風水害対策 (旧) 設計基準対象施設の火災防護に関する基本方針を適用する。 (新) 消火用水供給系の消火設備を構成するディーゼル駆動消火ポンプ, 電動機駆動消火ポンプ及び電動消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用), エンジン消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用)等の機器は, 風水害に対してその性能が著しく阻害されることがないように, 流れ込む水の影響を受けにくい建屋内に配置する設計とする。全域ガス消火設備についても, 風水害に対してその性能が著しく阻害されることがないように, 原子炉建屋, 原子炉補助建屋等の建屋内に配置する設計とする。 また, ディーゼル駆動消火ポンプ, 電動機駆動消火ポンプ及び電動消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用), エンジン消火ポンプ(1号, 2号及び3号炉共用)を設置しているポンプ室の壁及び扉については, 風水害に対してその性能が著しく阻害されることがないように浸水対策を実施する。 屋外消火栓は風水害に対してその性能が著しく阻害されることがないように, 雨水の浸入等により動作機構に影響を受けない機械式を用いる設計とする。 また, 屋外の火災感知設備は, 屋外仕様とした上で火災検知器の予備を確保し, 万一, 風水害の影響を受けた場合は, 早期に火災感知器の取替を行うことにより当該設備の機能及び性能を復旧する設計とする。	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
9	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-38	同上	
10	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41-とりまとめた資料-4	差異説明に以下の記載を追加しました。 (旧) 記載なし (新) <u>また、火災感知設備は-20℃においても動作可能な設計としている。</u>	
11	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-11	以下の通り「(3) 発火源への対策」の相違理由を適正化しました。 (旧) 【女川・大飯】 ■設計の相違 PWRは原子炉格納容器内の水素対策を実施しているため、設備が相違している。また、女川とも設備名称及び誤操作防止対策が相違している。 (新) 【女川】 ■設計の相違 PWRは原子炉格納容器内の水素対策を実施しているため、BWRと設備が相違している。 【大飯】 ■設備名称の相違 【大飯】 ■設計の相違 誤操作防止対策が相違している。 (泊は盤扉付きの制御盤で、盤扉が大飯で設置している保護カバーの役割を果たしており、実質的に大飯と同様に2アクションの誤操作防止対策を行っている。)	
12	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-13	以下の通り「(5) 放射線分解等により発生する水素の蓄積防止対策」の相違理由を適正化しました。 (旧) 【女川・大飯】 ■設計の相違 PWRは原子炉格納容器内の水素対策を実施しているため、設備が相違している。 (新) 【女川】 ■設計の相違 PWRは原子炉格納容器内の水素対策を実施しているため、設備が相違している。	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
13	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-15	以下の通りの「1.6.2.2.3 落雷、地震等の自然現象による火災発生の防止」相違理由を適正化しました。 (旧) 【大飯】 ■設計の相違 泊は立地的要因により高潮を考慮する。 (新) 【大飯】 ■設計の相違 泊は立地的要因により女川と同様に地滑りを考慮する。	
14	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41 r.4.3)	41条-本-8	(b) 発火性又は引火性物質である水素を内包する設備の「水素ポンペ」は「水素混合ガスポンペ」が正しいので、記載を適正化しました。	
15	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-9	同上	
16	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41 r.4.3)	41条-本-8	「i. 蓄電池」の設備名称の相違について、識別されていなかったため、識別いたしました。 (旧)：送風機及び排風機 (新)：給気ファン及び排気ファン	
17	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-9	同上	
18	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41 r.4.3)	41条-本-9	以下のとおり記載を追加しました。 (旧) 発火性又は引火性物質である潤滑油又は燃料油の貯蔵機器としては、ディーゼル発電機燃料油貯油槽がある。 ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、ディーゼル発電機等を7日間連続運転するために必要な量を貯蔵することを考慮した設計とする。 (新) 発火性又は引火性物質である潤滑油又は燃料油の貯蔵機器としては、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油サービスタンクがある。 ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、ディーゼル発電機等を7日間連続運転するために必要な量を貯蔵することを考慮した設計とする。 燃料油サービスタンクについては、非常用ディーゼル発電機を8時間連続運転するために必要な量を貯蔵することを考慮した設計とする。	
19	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-11	同上	
20	泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 1.2 火災による損傷の防止【41条】(SA41-9 r.4.3)	41条-本-17	屋外の重大事故等対処施設に対する竜巻防護対策の差異記載欄について、建屋内に設置している原子炉補機冷却海水ポンプに対する竜巻飛来物防護対策について記載を追加しました。	